

## 震災胸に強く生きる

原田 沙希さん

(正法寺)  
(平成7年生まれ)



私は阪神淡路大震災の年に生まれました。父と母は神戸で大きな被害に遭いましたが、お腹の中にいた私は無事に豊岡で生まれました。たくさんの命を奪った地震。私はその人たちの分まで強く生きなければと思います。私は将来、先生になりたいと思っています。子どもたちにいろいろなことを教える人になりたいです。そのためにも、私が今することは、たくさんの勉強と経験だと思っています。今年もいろいろなことにチャレンジします。

## 感謝の気持ちを忘れずに

山本 圭子さん

(出石町日野辺)  
(昭和58年生まれ)



前回の亥年から早くも一回りしました。12年前は早く大人になりたいと思っていましたが、実際、就職して社会に出てみると、楽しいこともたくさんありましたが、大変なこともたくさんありました。でも、この24年間、一人で生きてきた訳ではなく、周りの多くの方々力を借りながら2回目の亥年を迎えることができました。これからも感謝の気持ちを忘れずに楽しい毎日を過ごせたらと思います。

# 謹賀新年

今年は亥年。年男・年女の方々を代表して、10人の方に抱負を語っていただきました。皆さんにとって良い年になりますように…。

## 周りの人の助けになりたい

船田 賢一さん

(日高町伊府)  
(昭和58年生まれ)



昨年はけがをして、家族や職場の方々をはじめ、周りの方々に多くの迷惑をかけてしまい、また、多くの援助をしていただきました。改めて健康であることの大切さを感じ、自分の周りの方々のありがたさも感じました。今年は健康であること、また、自分を支えてくれている人たちへの感謝を忘れず、少しずつでも人として成長し、少しでも自分の周りの方々の助けになれるように頑張りたいと思います。

## 何事にも前向きに

荒井 孝博さん

(戸牧)  
(昭和46年生まれ)



今年は年男です。人生の折り返し地点に到達しました。社会に出て17年、家族を持ち、子どもに恵まれ、ようやく波に乗り出しました。今まで学校や地域等の役員をし、そこで学んだ家族や地域の大切さを忘れず、今後も突進したいと思います。これからの人生、たくさんの困難・苦難があると思いますが、後ずさりせず、常に前向きに進んでいきたいです。今年の目標はズバリ「何事にも前向きに」とし、これからの人生にチャレンジして頑張ります。

## 脱! 怒りんぼ母ちゃん

三谷 理絵さん

(竹野町森本)  
(昭和46年生まれ)



今年で早36歳です。そろそろ体のことが気になる年齢になりました。今年は軽い運動とともに野菜をもっと摂取してみようと思います。また、「脱! 怒りんぼ母ちゃん」を目指して、怒らず、子どもと一緒に楽しく接したいと思います。「お母ちゃん」。そう呼んでもらえる幸せを胸に、呼びかけには笑顔で応えたいです。日々の生活、出会いの中でパワーや生きるヒントを見つけ、家族やみんなと共に助け合いながら頑張っていきたいです。

## 人生の橋を無事に渡りきる

中嶋大二郎さん

(出石町町分)  
(昭和10年生まれ)



家族や友人の支えがあって元気で6回目の年男を迎えることができました。職場が豊岡の市街地にあるため、もう45年間も豊岡に通っています。その間、その通勤路に架かる7つの橋の架け替え工事を見てきました。今は自分の集落で整備が進められている出石の新たな基幹道路「新出石大橋」の完成を楽しみにしています。振り返れば、人生においても随分いろんな橋を渡ってきました。人生の大きな橋を最後まで無事渡りきれるよう元気に頑張っていきたいと思っています。

## 声掛け合って幸せいっぱいのに

山崎とみゑさん

(九日市下町)  
(大正12年生まれ)



戦中戦後の衣食に事欠く中、生きてきた者にとって、親が子を、子が親を殺すなどの悲しい記事にふれると、大変な世の中になったと心が痛みます。皆さんの支えのおかげで7回目の亥年を迎えることができました。今年は好奇心いっばいに猪突猛進といきたいところですが、気ははやっても体がついてきません。せめて周りの足手まといにならないよう頑張りたいものです。みんなで声を掛け合って明るい話題と幸せいっばいの年になってほしいと祈ります。

## 温かい家庭を築く

友田 節子さん

(日高町江原)  
(昭和22年生まれ)



団魂一期生が還暦を迎える年になりました。60年の月日はあっという間でした。私自身は決して後ろを振り返ったり、後悔したりしない性格なのですが、これまでその折々に自分でできる範囲で精一杯過ごしてきたと思います。そして、それができたのは、何よりも家族の協力と信頼であったと感謝しています。今後も我が家を築立っていった家族や、ふるさとを離れた知人や友人たちがいつまでも帰ってきたくなるよう温かい家庭であり、豊岡であるようにしていきたいと思っています。

# 2007年 亥年



## “一期一会”を大切に

木村 壽孝さん

(城崎町湯島)  
(昭和34年生まれ)



時の経つのは早いもので、あっという間に4回目の年男となっていました。城崎温泉で生まれ育ったせいか、多くの観光客の方々が楽しそうにされている姿を見るとうれしい気持ちになります。その時々のお会いである「一期一会」を大切に、城崎温泉など豊岡を訪れる方々にゆったりとホッとした、いい気持ちで過ごしてもらえるよう、微力ながら地域で頑張っていきたいと思っています。

## 気持ちだけは若々しく

宮垣 洋子さん

(但東町中山)  
(昭和34年生まれ)



まだまだ若いつもりでしたが、早4回目の年女です。そして結婚25周年の記念の年を迎えました。週2回、バレーボールの練習に行っていますが、チームの中でも最年長になり、みんなの足を引っ張っています。今年も老体にムチを打ち、家族、仲間と励まし合いながら、できる限り続けていきたいと思っています。また、昨年習った園芸教室で楽しさを知った花作りにも挑戦してみたいです。年々、年を取りますが、いつまでも気持ちだけは若々しく保ち続けたいと思っています。